当初予算書
237P

事業名	【新規】 道路整備事業費負担金				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
900万0					900万0
事業期間	平成２８年度～平成３０年度 (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

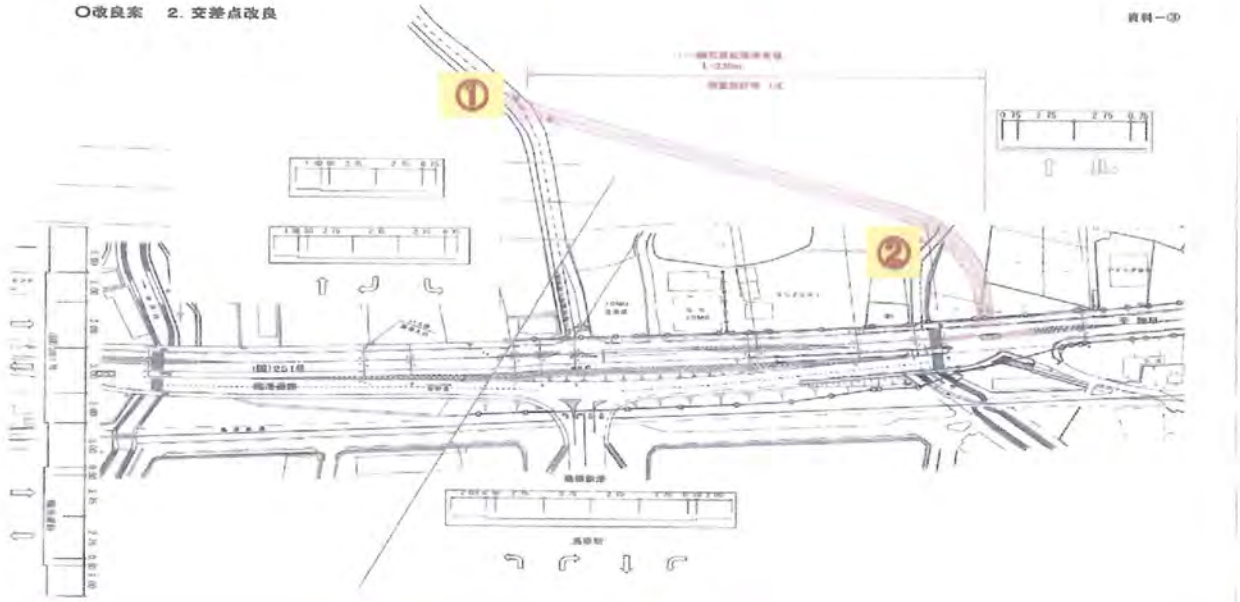
県道礫石原松尾町停車場線から新港団地に進入する際に、国道を180度回転する必要があるので、新港会やＪＡの野菜部会からアクセス道路を作るよう要望が上がっています。

【事業概要】

・道路改良（バイパス）　L=250m　（地元負担金は事業費の15%）

【効果】

・県道から新港内へ安全に進入でき、交通事故の抑制に寄与します。



科目	8款	2項	3目	目名称	道路新設改良費（単独）	道路課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	—	調査設計に関する負担金	用地費

当初予算書
237P

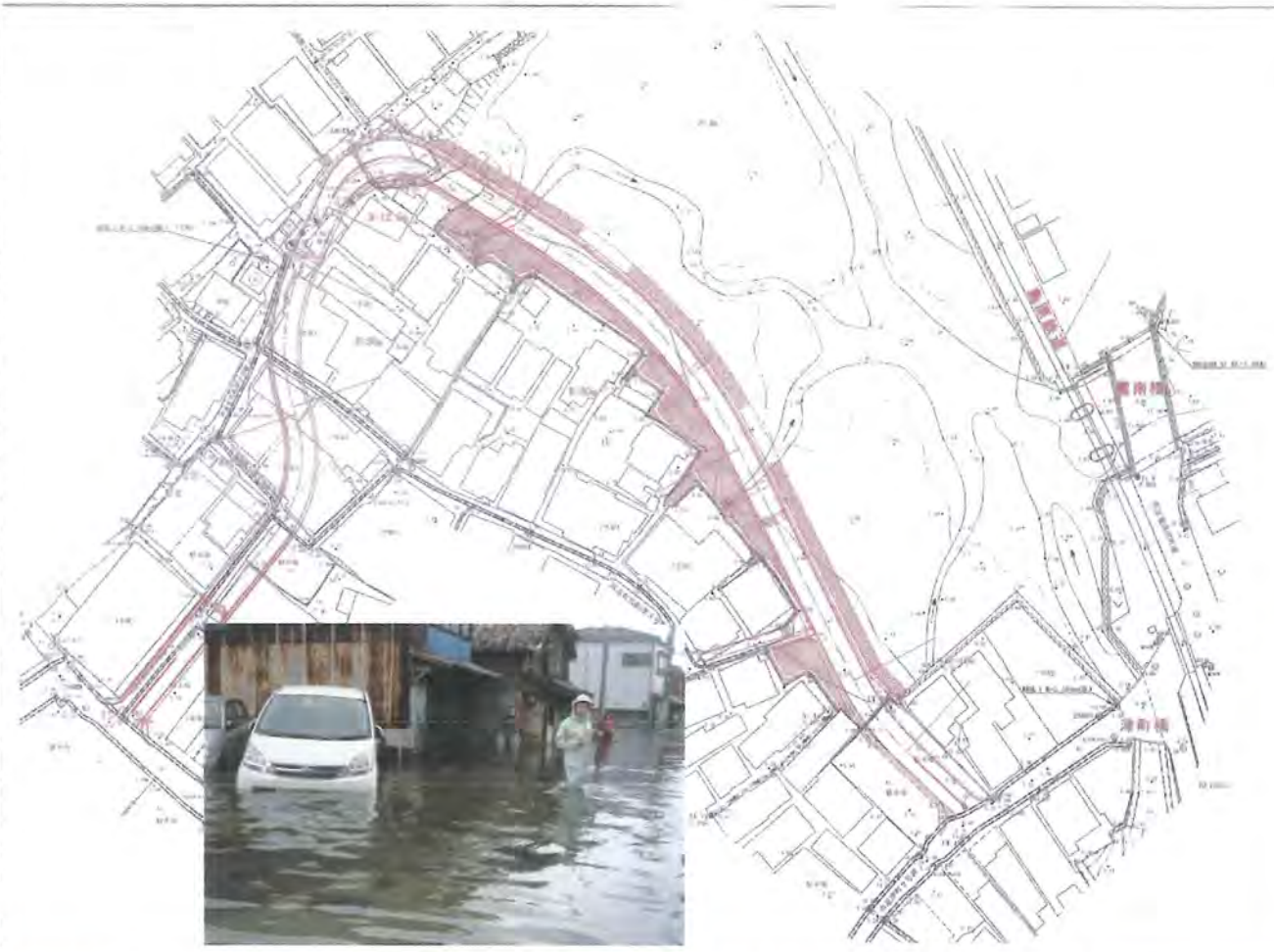
事業名	【継続】 船津地区高潮対策事業費				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1億3,932万0			1億3,430万0		502万0
事業期間	平成２６年度～平成３０年度 (複数年度事業)			総事業費	4億0万0

【事業目的】

平成24年9月に発生した台風16号により、船津地区が高潮で甚大な浸水被害を受けたことを踏まえ、緊急避難道路やポンプ場等を整備します。

【事業概要】

有馬船津5号線建物等調査業務委託　5件
有馬船津5号線分筆図作成公共業務委託　20筆
有馬船津5号線用地費　10件　807.47㎡
有馬船津5号線補償費　12件（家屋・工作物等）



科目	8款	2項	3目	目名称	道路新設改良費（単独）	道路課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	測量設計業務委託	用地費及び補償金	護岸、埋立、道路整備、排水ポンプ

当初予算書
237P

事業名	【新規】 島原市道路附属物（道路照明施設）修繕工事				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
900万0	540万0				360万0
事業期間	平成２８年度～平成２９年度　（複数年度事業）			総事業費	1,800万0

【事業目的】

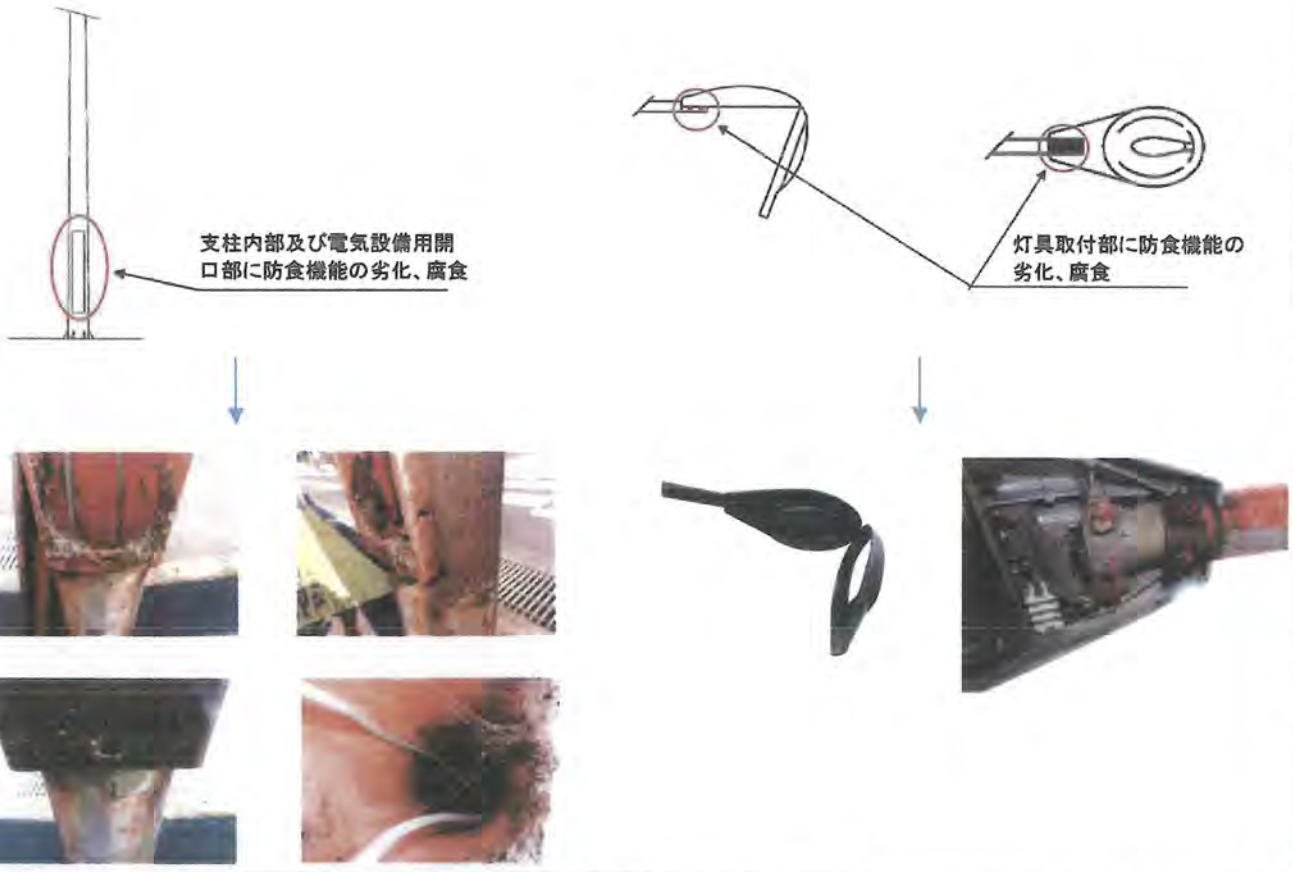
平成26年度に社会資本整備交付金を活用して実施した、道路ストック総点検業務委託（附属物）で調査した道路照明施設199基のうち、15基が老朽化し補修が必要と判断されたため、修繕を実施し、部材等の落下による災害や、第三者被害を未然に防ぐことを目的とします。

【事業概要】

・部材の修繕、照明施設の建替え等ｎ＝15基（28年度　8基、29年度　7基）

【効果】

・車輌や歩行者などの道路利用者の安全を確保します。



科目	8款	2項	4目	目名称	道路新設改良費（補助）	道路課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	－	道路照明灯修繕ｎ＝8基	道路照明灯修繕ｎ＝7基

当初予算書
239P

事業名	【継続】 橋りょう定期点検事業（社会資本整備総合交付金事業）				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,080万0	648万0				432万0
事業期間	平成２７年度～平成３１年度（複数年度事業）			総事業費	1億4,677万3

【事業目的】

・平成22年度に橋長15m以上の33橋及び25・26年度に15m未満の232橋の橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、1年に1橋程度の長寿命化工事を実施しています。

・平成26年6月に国土交通省が「橋梁定期点検要領」を定め、5年に1回定期点検を行うようになったため、点検を計画的に進めます。

【事業概要】

・市が管理する265橋を平成27年度から始め、31年度までに全橋梁の定期点検を終了し、劣化度の高い橋梁から詳細設計をして、翌年度に修繕工事を行い、橋梁の長寿命化を図ります。

年度	27	28	29	30	31
点検数	12	32	73	73	75
15m以上	12	6	5	5	5
5m～15m	0	15	44	44	43
5m未満	0	11	24	24	27

【効果】

・橋梁の劣化による突発的な落橋を防ぐとともに、長期的に渡る通行止めの回避を図り、第三者被害の防止を目指します。

科目	8款	2項	5目	目名称	橋りょう新設改良費	道路課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	１２橋点検	３２橋点検	２２１橋点検

当初予算書
241P

事業名	【継続】 広馬場下公有水面埋立事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,620万0			1,690万0		930万0
事業期間	平成２７年度～平成３１年度 (複数年度事業)			総事業費	2億7,200万0

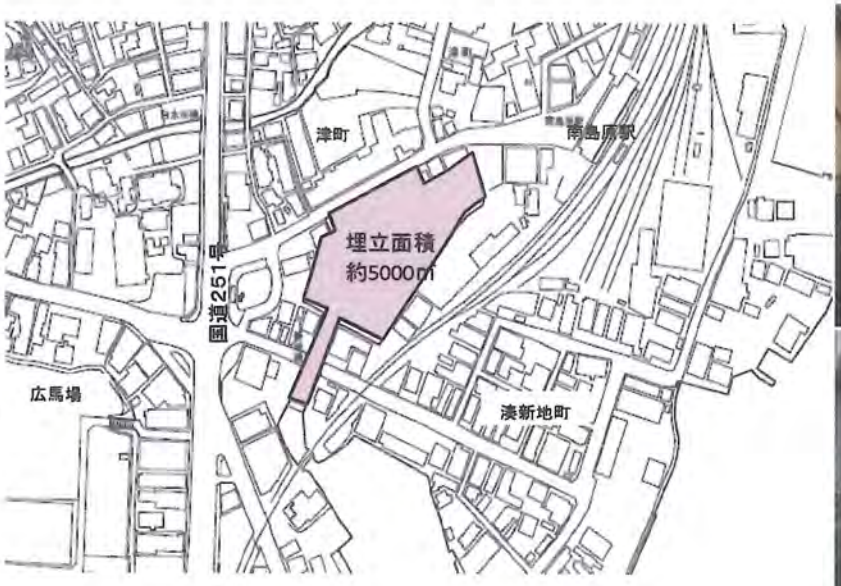
【事業目的】

船津地区は、7月から10月にかけて大潮時には、護岸を越える潮位により、鉄道や道路が冠水し、家屋が浸水するなどの被害が発生しています。とくに、平成24年9月17日の台風16号に伴う高潮により、床上浸水74戸、床下浸水182戸の記録的な被害が発生しました。

高潮が津町の船溜りに入り込まないように公有水面を埋め立てることにより、高潮に伴う浸水被害を防止し、災害から地域住民の人命と財産を守り、市民が安全で安心して暮らせる快適なまちをつくります。

【事業概要】

・広馬場町390番から津町588番3を経て湊新地町396番までに隣接する地先公有水面の埋立
・埋立面積は、約5000㎡、埋立高さ約5m、埋立土砂約25000㎥
・平成27年度……測量調査A=0.01k㎡
・平成28年度……地質調査L=144m、実施設計、公有水面埋立申請書作成、埋立申請
・平成29～31年度……締切護岸、排水施設、矢板工、埋立造成工事、竣工認可申請



被災状況

科目	8款	3項	1目	目名称	河川整備事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	測量調査　A=0.01k㎡	地質調査n=9箇所 実施設計業務委託 公有水面埋立免許申請書作成業務委託	埋立造成工A=5000㎡ 矢板工L=200m 護岸工L=8m　排水工L=50m 公有水面埋立竣工認可申請

当初予算書
245P

事業名	【継続】 島原市街図修正業務委託料				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,310万0					1,310万0
事業期間	平成２７年度～平成２８年度 (複数年度事業)			総事業費	3,310万0

【事業目的】

航空写真、市街図データは、島原市統合型ＧＩＳにより全庁的に利用しており、各種の計画や調査に使用するためには、常に最新版であることが望ましいが、市街図の修正には多額の費用がかかることから、随時、更新することは難しい状況です。

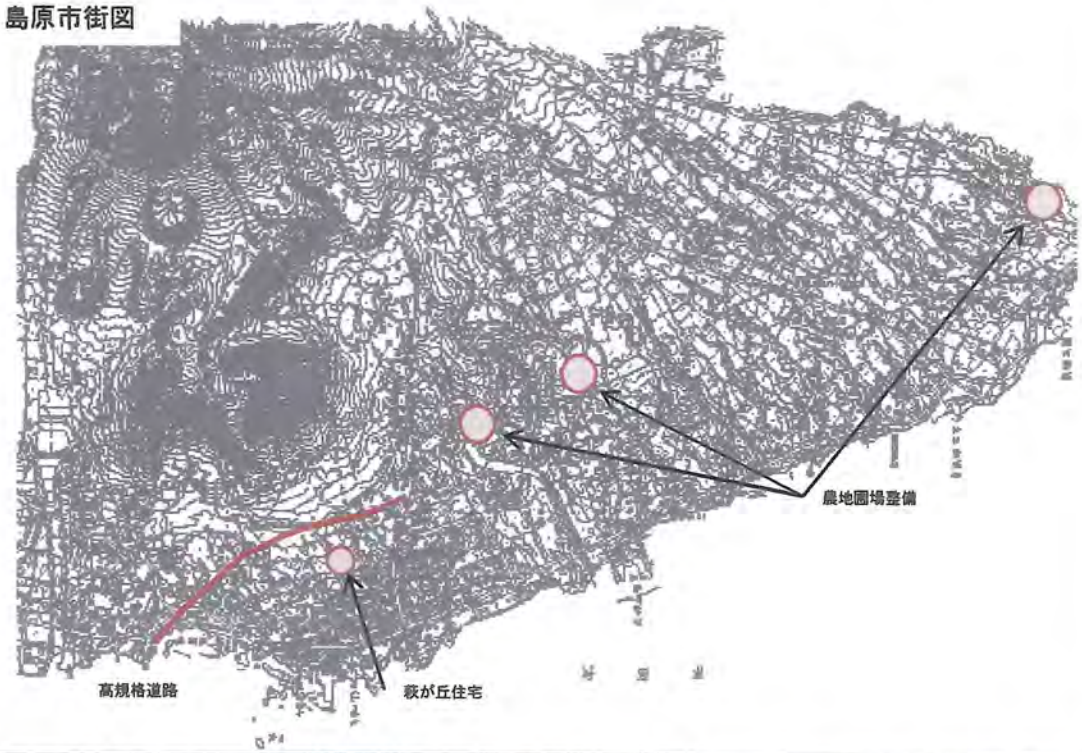
現在の航空写真、市街図は、平成18年に撮影したものであり、10年を経過する中で、高規格道路や都市計画道路、萩が丘市営住宅、三会原や宇土山、下辻地区の圃場整備事業などが施工され、土地、家屋の状況も変化しており、現状とのかい離が著しい箇所が増えてきたため、市街図の修正を実施するものです。

【事業効果】

計画的に市街図の修正を行うことで、全庁的な各種台帳管理、調査、計画策定業務に利用できます。

【庁内のデータ利用状況】

地形図、地番図、公園管理台帳、都市計画、道路台帳、町名町界、河川情報、農政情報、等高線、境界確認、墓地管理等において市街図データを利用しています。



科目	8款	5項	1目	目名称	都市計画総務経費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	現地調査 数値地形図データ修正	数値地形図データ修正 都市計画データ修正 統合型GIS実装 市街図等印刷	—

当初予算書
253P

事業名	【継続】 公園整備事業費負担金【百花台公園整備事業】				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,227万6			1,220万0		7万6
事業期間	平成１２～２８年度 (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

長崎県が行っている百花台公園整備事業に対する負担金です。この公園は、市民、県民の憩いの場となっており、公園が整備されることにより、親子でのレクレーションの場として利用されることになります。

【事業概要】

百花台公園の都市計画決定面積は４８．４ｈａあり、平成１２年度からは第２次整備を行っています。

平成２８年度は、植栽（高木、低木）、張芝、舗装、四阿等の整備が予定されており、この事業は、平成２８年度で完了予定です。

百花台公園施設配置計画図

科目	8款	5項	2目	目名称	公園費	都市整備課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	公園整備		公園整備		—	

当初予算書
253P

事業名	【継続】 ウォーキング・ランニングコース整備事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,292万8		480万0			812万8
事業期間	平成２６年度～平成２８年度 (複数年度事業)			総事業費	3,717万2

【事業目的】

地域住民の健康増進及び地域経済の活性化を図るため、身近で気軽に楽しめるウォーキング・ランニングコースを整備します。

なお、整備後はウォーキング・ランニング等の大会を開催し地域経済の活性化を図ります。

【事業概要】

①水無川導流堤内にウォーキング・ランニングコースを整備
（平成２６年度から２８年度までの３か年の事業）

②水無川導流堤内にコースの舗装や案内板等を設置（全長約２，９００ｍ）

科目	8款	5項	2目	目名称	公園費	道路課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	２，２００m整備	約７００m整備	—

当初予算書
253P

事業名	【継続】 霊南山ノ神線整備事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1億5,029万3	6,000万0		9,000万0		29万3
事業期間	平成１９年度～平成３２年度 (複数年度事業)			総事業費	17億9,000万0

【事業目的】

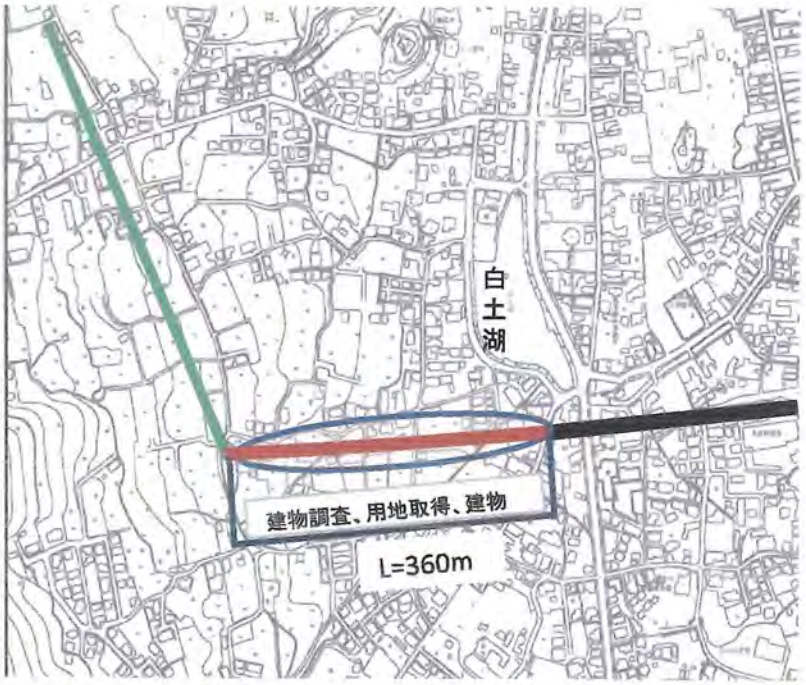
国道251号蛭子町一丁目から島原郵便局、白土湖、上の原二丁目を経由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路です。

市街地中心部の交通混雑の解消を目的とするとともに、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上を図り、地域の活性化につなげます。

【事業概要】

海手側の市道上の町広馬場線（島原郵便局付近）から市道中堀町新山線までの約２８０ｍ区間は、平成２７年１１月に供用を開始しています。

山手側の白土湖側の交差点から新山本町線交差点までの約３６０ｍ区間について、建物調査等を実施し、用地取得及び建物補償等を行ないます。



白土湖交差点から山側

新山本町線交差点から海側

科目	8款	5項	3目	目名称	街路整備事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	用地測量及び設計業務委託 用地取得及び建物補償 本工事　延長L=280m	建物調査業務委託 用地取得及び建物補償	建物調査業務委託 用地取得及び建物補償 本工事　延長L=360m

当初予算書
253P

事業名	【継続】 親和町湊広場線整備事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
180万0					180万0
事業期間	平成２７年度～平成３３年度 (複数年度事業)			総事業費	4億7,080万0

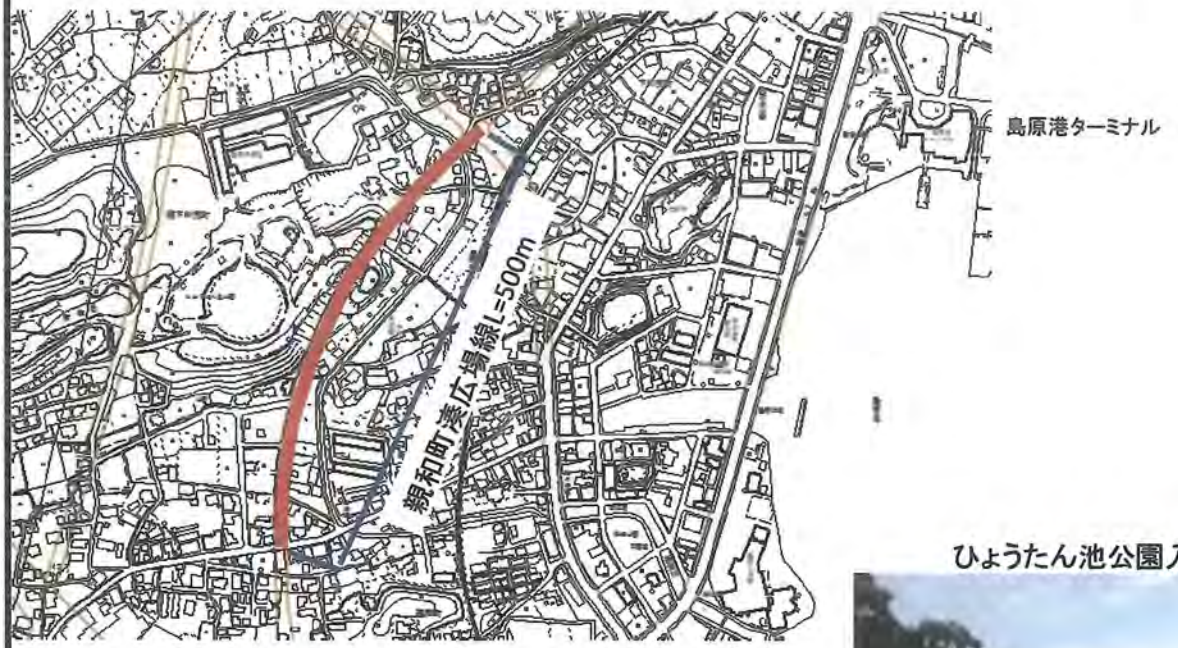
【事業目的】

本路線は、国道57号（親和町）からひょうたん池公園、島原病院付近を経由し、国道251号（白山町）を結ぶ、都市計画道路です。

外港周辺や島原病院から島原中央道路島原外港ＩＣへのアクセス道路としての役割を持ち、市街地中心部の交通混雑の解消を図ります。また、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】

Ｈ２８年度は、親和町の市道新湊大下線のひょうたん池公園入口から都市計画道路安徳新山線との交差点までの約５００ｍ区間の事業化に向けて、用地測量、除草樹木剪定を行います。



ひょうたん池公園入口付近

科目	8款	5項	3目	目名称	街路整備事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	測量及び設計業務委託 費用便益算定業務委託	用地測量業務委託	建物調査業務委託 用地取得及び建物補償 本工事　延長L=500m

当初予算書
253P

事業名	【継続】 安徳新山線整備事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
210万0					210万0
事業期間	平成２７年度～平成３３年度 (複数年度事業)			総事業費	7億7,488万0

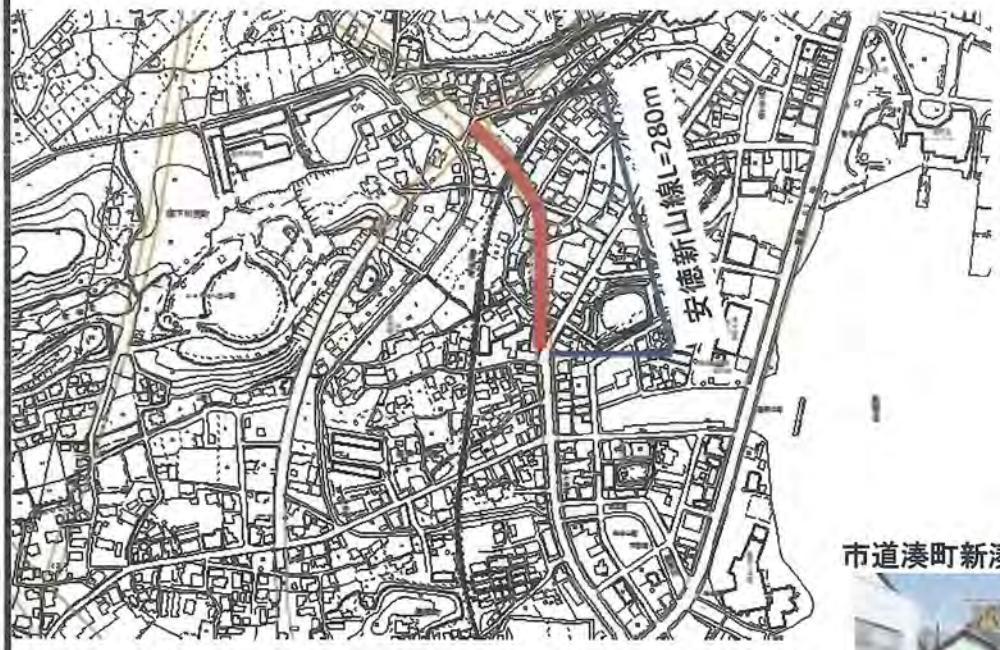
【事業目的】

本路線は、国道251号水無川橋から秩父が浦町の国道57号交差点、緑町を経由し、都市計画道路新山本町線の新山交差点を結ぶ都市計画道路です。

外港周辺や島原病院から島原中央道路島原外港ＩＣへのアクセス道路としての役割を持ち、市街地中心部の交通混雑の解消を図ります。また、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】

Ｈ２８年度は、南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路親和町湊広場線との交差点までの約２８０ｍ区間の整備の事業化に向けて、用地測量を行います。



市道湊町新湊線(南下川尻町)付近

科目	8款	5項	3目	目名称	街路整備事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	測量及び設計業務委託 費用便益算定業務委託	用地測量業務委託	建物調査業務委託 用地取得及び建物補償 本工事　延長L=280m

当初予算書
255P

事業名	【継続】 街路整備事業費負担金【新山本町線整備事業】				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,600万0			3,600万0		
事業期間	平成２６年度～平成３２年度 (複数年度事業)			総事業費	1億8,267万5

【事業目的】

本路線は、新山一丁目から、上の原一丁目、柿の木町、柏野町を経由し、杉山町の県道野田島原線を結ぶ都市計画道路です。県営事業として、都市計画道路 霊南山ノ神線との交差点から市道高島丁椿原線との交差点までの約６６０ｍ区間の整備に対する負担金です。

本路線の整備により、市街地中心部の幹線道路の交通混雑の解消を図ります。併せて、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから、地域住民の利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】

県営事業（建物補償調査業務、用地取得、建物補償等）の負担金です。

市道 高島丁椿原線(萩原三丁目)付近

科目	8款	5項	3目	目名称	街路整備事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	測量及び設計業務委託 建物調査業務委託 用地取得及び建物補償	建物調査業務委託 用地取得及び建物補償	建物調査業務委託 用地取得及び建物補償 本工事　延長L=660m

当初予算書
255P

事業名	【継続】 晴雲団地都市下水路改修事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,200万0					1,200万0
事業期間	平成２７年度～平成３２年度 (複数年度事業)			総事業費	9,107万0

【事業目的】

晴雲団地都市下水路は、昭和36年から施設が建設され、50年以上を経過し、コンクリート構造物の劣化に伴う施設の損傷が見られる箇所があります。

平成27年度実施した老朽化調査の結果から、劣化状況に応じた改修補強工法により、施設の改修工事を行い、施設の長寿命化を図りながら、計画的な維持管理を行ないます。

【事業概要】

田町から南柏野町までの延長約1350mについて、老朽化調査により損傷が確認された550m区間の改修工事を年次計画により実施するものです。

都市下水路内を撮影　コンクリート床板内の鉄筋が腐食し、破損している状況

科目	8款	5項	4目	目名称	都市下水路費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	老朽化調査及び 補修補強設計業務委託	改修工事L=80m ボックスカルバート改修	改修工事L=470m ボックスカルバート改修

当初予算書
259P

事業名	【継続】 耐震・安心住まいづくり支援事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
421万4	165万2	103万8			152万4
事業期間	平成２２年度～			総事業費	

【事業目的】

昭和５６年以前に建築された木造戸建て住宅等及び建築物の耐震改修の促進に関する法律に規定された特定既存耐震不適格建築物に対して、耐震診断や耐震改修計画書の作成及び耐震改修工事に要する費用の一部を支援して建築物の耐震化を促進するものです。

【事業概要】

①木造戸建住宅・併用住宅

補助内容	補助率	限度額
耐震診断	２／３	３万８百円
耐震改修計画作成	２／３	７万円
耐震改修工事	３／４ （併用住宅は１／４）	９０万円 （併用住宅は３０万円）

②　特定既存耐震不適格建築物

補助内容	補助率	限度額
耐震診断	２／３	１６０万円

科目	8款	6項	3目	目名称	耐震・安心住まいづくり支援事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	平成27年　930万8千円	平成28年　421万4千円	未定

当初予算書
259P

事業名	【継続】 島原市住宅性能向上リフォーム事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,000万0	135万0				865万0
事業期間	平成２６年度～平成２８年度 (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

市民が居住する住宅のリフォームに対し、工事に係る費用の一部を支援することで、バリアフリー化、省エネ化、防災化及び長寿命化の推進を図り、安全で安心して暮らせる環境に優しい街づくりを目指すものです。

【事業概要】

補助メニュー	補助対象工事	補助率	限度額
①バリアフリー・安全型	床段差解消、手すり設置、 障害者用キッチンの設置、 シックハウス対策 等	２０％	１０万円
②省エネルギー型	住宅の居室の窓を断熱化、 断熱性向上の材料使用、 高効率給湯器などの設置 等		
③防災型	屋根材軽量化や耐風仕様化、 基礎・柱等躯体の補強、 防火性能のある外装材使用 等		
④長寿命型	住宅の長寿命化に資する改修工事 ※上記、①②③の工事のいずれかと併せて行うもの	１０％	１０万円

(備考)

1. 補助対象となる住宅

(1) 一戸建て住宅

(2) 分譲マンション、共同住宅（賃貸住宅を除く）で、居住の用に供する専用部分
※居住住宅と店舗併用の場合は、居住面積が1/2以上あること

2. 補助申請のできる方 ※市税の滞納（同一世帯員を含む）がないこと

住宅を所有（補助対象者名義に限る）しており、次のいずれかに該当する方

(1) 当該住宅に、現に居住している方

(2) 当該住宅に居住していないが、改修後、居住することが確実である方

(経過)

H23.10～島原市安全・安心住まいづくり支援事業

H25.10～上記事業に加え、島原市住宅性能向上リフォーム支援事業（県補助有）

H26.5～ 島原市住宅性能向上リフォーム事業（※上記２本の事業を統合し、一本化）

科目	8款	6項	3目	目名称	耐震・安心住まいづくり支援事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	H26.04 ～ 3895万0千円 (H28.1.31末現在)	H28.05 ～ 1,000万円	―

当初予算書
259P

事業名	【新規】 老朽危険空き家除却支援事業費				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
250万0	125万0				125万0
事業期間	平成２８年度～			総事業費	

【事業目的】

空家等対策の推進に関する特別措置法（空き家に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針）が示されたことにより、適切に管理されていない空き家を除去するために支援制度を新設するものです。

【事業概要】

補助対象　不良住宅の除却等に要する費用が対象となります。

事業効果　老朽危険空き家を除却することで、防災性や防犯性を向上させ、併せて景観上の向上に努めることが可能となります。

補助額　補助対象額の２/５（国１/５・市１/５）　５０万円（上限額）

国費事業　社会資本整備総合交付金（基幹事業）
住宅地区改良事業等　空き家再生等推進事業（除却事業タイプ）

●除却事業タイプ

科目	8款	6項	4目	目名称	空き家等対策事業費	都市整備課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	なし	解体工事　50万円×5件	解体工事　50万円×5件 前年度実績を計上予定

当初予算書
261P

事業名	【継続】 浄化槽設置整備事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
8,887万0	2,962万3	2,962万3			2,962万4
事業期間	平成５年度～			総事業費	

【事業目的】

本事業により、公共用水域や、河川の水質汚濁防止に寄与し、環境保全と生活水準の向上に資するものです。平成５年度から実施し、国・県・市が１／３（※）の負担割合で補助を行い、平成２６年度までに５，０１６基設置されています。

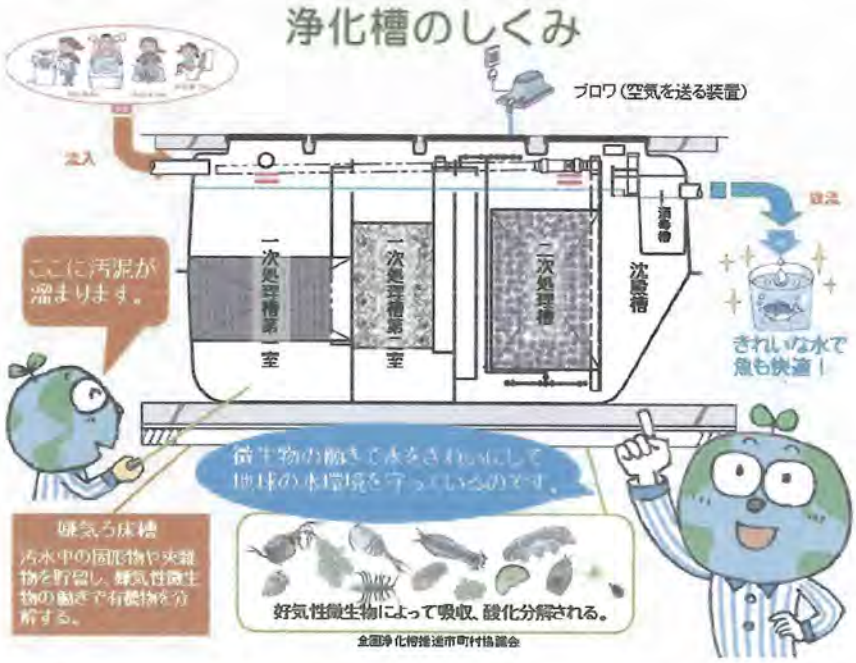
【事業概要】

浄化槽を設置しようとする者に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。
《事業主体》　島原市
《事業期間》　旧島原市　平成５年度～
　　旧有明町　平成３年度～

補助金額

人槽区分	補助限度額（円）
5	332,000
6～7	414,000
8～50	548,000

※浄化槽を設置する場合、単独浄化槽の撤去を要する工事については、９万円又は撤去費用のいずれか少ない金額を加算して補助金を支給します。



科目	8款	7項	1目	目名称	下水道費	道路課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	５，２１６基を設置（見込）	２２５基を設置	毎年度２２５基を設置